



自分大好き
友達大好き
ふるさと大好き

宮小の子

令和5年度 栗原市立宮野小学校
校長室だより No.7
2024/3/1
発行者 小松 英明

令和五年度への感謝

令和五年度を大過なく終える見通しが立ってきました。今年は、宮野小学校にとって大きな変化の年でした。

まずは、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、今まで自粛してきた学校行事や取組が制限無しで行えるようになりました。運動会、プール、学芸会、もうすぐ行われる卒業式等々。今までやりたくてもできなかったこと、してあげたくてもしてあげられなかったことができるようになりました。全てを従前に戻すことはできませんでしたが、多くの取組を以前のように行うことができました。

加えて、忘れてはいけないう大きな今年の取組は、150周年記念事業です。夏には、登校坂の植栽、秋には航空写真の撮影がありました。そして、今後も記念誌「彩雲」の発行が予定されています。多くの方のご協力、ご尽力のお陰で、12月9日には、150周年記念式典を行うこともできました。宮野小学校らしい記念式典でした。多くの人の心に残っていることと思います。

何れの取組も学校だけで行えたことではありません。地域の皆様、保護者の皆様のご理解、ご協力、ご尽力があって行えたものです。手前味噌ですが、すばらしい1年間でした。本当にありがとうございました。

令和6年度も令和5年度の取組を充実させていきます 学校評議委員会資料より

学校では、よく「知・徳・体」という表現がされますが、我が校の徳・体・知に関する調査結果です。今年度の取組の成果が見て取れます。来年度は、今年度の取組を踏襲しつつ知に力を入れていきたいと思ひます。

番号	内容	7月支持率	12月支持率	全校児童のアンケート結果の比較です。学校教育目標に関係する3つの質問の何れもが向上していました。
13	自分のことが好き	77.1%	79.7%	
21	友達が好き	97.1%	98.6%	
33	宮野が好き	92.9%	95.7%	

【総合評価】 男子	学校	宮城県	全国	【総合評価】 女子	学校	宮城県	全国	スポーツテストの結果です。▲の破線が宮城、●の実線が全国で、後ろの柱状グラフが宮小です。宮野の結果が右（高評価）に寄っていることが分かります。
平均値	57.17	52.03	52.59	平均値	57.11	53.97	54.28	

国語	正答率	算数	正答率	市で行った学力テストの全国、栗原市、宮小の比較です。全国平均を目指していきます。
校内 平均正答率	60.8	校内 平均正答率	65.6	
市町村 平均正答率	56.7	市町村 平均正答率	59.7	
全国 平均正答率	66.6	全国 平均正答率	73.8	

みんなに知らせたい

今日の宮小っ子



授業参観でお話したこと

今年度、最後の学習参観日に来校いただきありがとうございます。全体会は予定されておりましたが、急遽時間をとってもらいました。というのは、この一年間の宮野小学校へのご理解とご協力に感謝申し上げたいと思ったからです。

この一年間、たくさんの方がいました。思い出すとニヤッと笑ってしまうような楽しいこと、こうすれば良かったかなあと反省すること等、たくさんの方が思い出されます。しかし、多少の課題は残っていますが、年度末を迎えることができました。皆様方のご協力おかげです。本当にありがとうございました。

先日、卒業アルバムのゲラ刷りを見せてもらいました。運動会の写真からは今の顔より幼さを感じます。たった三ヶ月前の学芸会の写真を見ても幼さを感じます。それは、裏返せば、子供たちの成長の跡ですね。子どもは、目を見張る速さで成長していきます。嬉しいことです。

子供たちの成長は、目に見える表面的なことばかりではありません。

学校では、教室や廊下などは自在箒を使ってゴミを掃き集めます。家庭にあるような座敷箒とは形も使い方も違います。はじめて自在箒を使って掃除を始めた一年生、今では、隙間なく丁寧にゴミを集めることができます。一年生の教室前から校長室前の廊下まで出張して掃いてくれることもあります。これも目には見えませんが、成長の跡です。

その陰には、それを支えた六年生がいます。六年生は、毎日一年生の掃除のお世話を続けていました。ホウキの使い方やゴミを掃き集める掃き方、ぞうきんの使い方など、やって見せたり手を添えたり、丁寧に教えていました。毎日、掃除が終わると六年生は一年生の教室に招かれます。そこで、一年生全員から「ありがとうございました」とお礼を言われます。先日見たその時の六年生の表情、なんとも嬉しそうな恥ずかしそうない表情をしていました。きっと六年生は、「人に親切にすると自分も嬉しくなること」や「人と関わることの喜び」などを学んでいることでしょう。きっとこの六年生たちは、引きこもりにはならないと思います。これも目には見えませんが、成長の跡です。

この一年間、宮野小学校の子供たちは、目に見える部分も目に見えない部分も大きく成長しました。これは、地域・保護者の皆さんと学校と子供たちそれぞれの取組の成果です。本当にありがとうございました。

「自分大すき 友達大すき ふるさと大すき 宮小の子」来年もこれに向かって子供たちを育てていきたいと思っています。ぜひ、来年度も温かいご協力、ご理解、ご支援をお願い致します。今年度のご支援に改めて感謝申し上げます。校長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

学校で育つ力 「関わりの中で、共に学び、共に育つ」

校長として勤務した以前の2校では、「関わりの中で、共に学び、共に育つ」を目標として設定させてもらっていました。宮野小学校にはすばらしい目標がすでにあっただので、この目標を設定することはありませんでした。前の記事にも書きましたが、子供たちは、学校でたくさんの方を学んでいます。一方で、裏面で紹介した「知・徳・体」に関する調査結果のように目に見える学びもあります。どちらも大切な学びです。人は、人の中で生まれ、育ち、自己実現を目指します。人との関わりは、避けては通れません。「人との関わりを大切にしながら、人と協力し、自分の力も伸ばしていく」そんなしなやかな人間に育ってほしいと思っています。来年度も一緒に子育てを楽しみましょう。